

人と動物が幸せに暮らせる沖縄へ ～9月20日から26日は動物愛護週間～



毎年9月20日から26日は「動物愛護週間」です。犬や猫などのペットは、私たちの暮らしを豊かにしてくれる大切な家族です。その命を最期まで責任を持って守ることは、飼い主の大切な役割であり、義務でもあります。毎日のごはんや健康管理はもちろん、いつ起こるか分からない災害への備えも大切です。



令和7年度動物愛護図画コンクール表彰式

もしもに備える「ペット防災」

災害が起きたとき、ペットと一緒に避難できるよう、日頃から避難場所を確認し、ペットフードやケージなどの避難用品を準備しておきましょう。また、ワクチン接種や、迷子になっても飼い主が分かるように「マイクロチップ」を装着することも、大切な家族の命を守る重要な備えになります。



県公式ページ
ペットの災害対策

県の取組

県ではこの週間に合わせ、動物慰霊祭（9月11日）や街頭キャンペーン（9月15日）などの啓発活動を実施します。ペットを飼っている方もそうでない方も、この機会に「人と動物が共に幸せに暮らせる社会」や「ペット防災」をはじめとする、人と動物が共生できる社会について、一緒に考えてみませんか。



県公式ページ
動物愛護週間

問い合わせ 自然保護課 電話：098-866-2243

おきなわ#7119電話相談窓口

おきなわ#7119とは？

#7119は、急なケガや病気の際、「救急車を呼んだ方がよいか」「すぐに病院に行った方がよいか」など、医師や看護師からアドバイスを受けられる電話相談窓口です。

通話料は利用者のご負担となりますが、携帯電話や固定電話から、24時間365日相談料無料でどなたでもご利用いただけます。



県内の救急搬送の現状

県内の救急搬送人員は年々増加しており、過去10年間で約19,000人増加しています。令和6年中の救急搬送人員は、統計を開始以来最多となる84,289人でした。

一方で、入院を必要としない「軽症者」の搬送割合は毎年50%を超えています。令和6年中の軽症者の割合は54.4%と全国でも4番目に高く、救急車の適正な利用が課題となっています。

#7119を活用することで、救急車の適正利用や救急医療機関の適正受診につながり、県民や観光客の皆さまの安心・安全の確保が期待できます。

利用方法 携帯電話などから「#」を押したあと、7119を押していただくと、相談窓口へつながります。※IP電話など、#発信ができない電話機の場合は、098-866-7119にお電話ください。

利用可能時間
24時間365日



対応可能な外国語(23カ国語) 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、マレー語、ドイツ語、イタリア語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウルドゥー語、トルコ語、ミャンマー語

※相談料は無料ですが、通話料は利用者のご負担となります。※この電話窓口では、お聞きした内容をもとにアドバイスを行うもので、医療行為ではありません。

問い合わせ 消防防災対策課 電話：098-866-2143